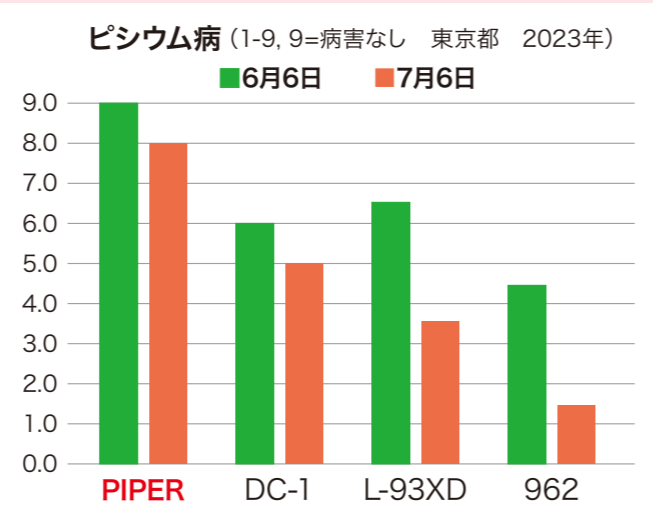
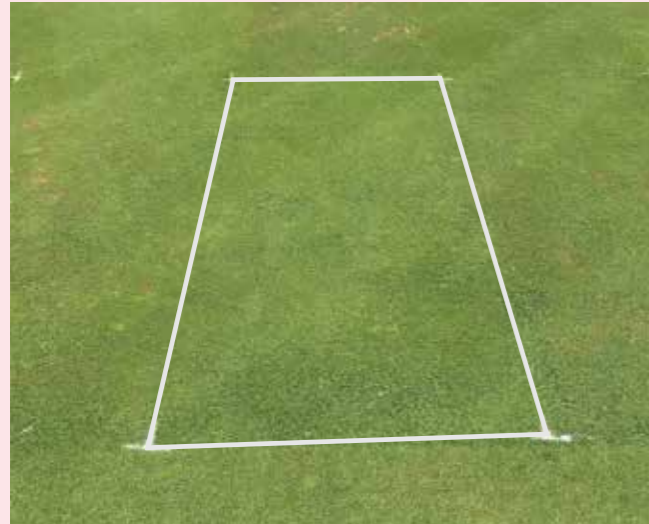


PIPERの耐病性

🌟 **ピシウム病と細菌病に強い**



PIPERの区画 (白線の枠内) ▶ 病害なし

PIPERは周囲の他の品種と比較して、ピシウム病と細菌病の症状が無く病害に強い品種です。(東京都 2023年7月)

🌟 **炭疽病とピシウム病に強い**

炭疽病 (1-9, 9= 病害なし) 最小有意差 =1.3		ピシウム病 (1-9, 9= 病害なし) 最小有意差 =1.0	
PIPER	9.0	PIPER	9.0
DC-1	9.0	OAKLEY	9.0
L-93 XD	9.0	L-93 XD	8.7
DECLARATION	9.0	DECLARATION	8.7
CY-4	9.0	PENNCROSS	8.7
PENNCROSS	9.0	007XL	8.7
BARRACUDA	8.7	BARRACUDA	8.0
007XL	8.3	CY-4	7.3
PENN A-1	8.3	PENN A-1	7.3
最も低い評価	7.3	最も低い評価	5.3



PIPERのターフ (茨城県 2025年)

PIPERは、炭疽病とピシウム病の耐病性で第1位グループに評価されました。(NTEP 2023年)

TG **東洋グリーン株式会社**
TOYO GREEN

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>

USGA グリーンセクション設立 100 周年を
記念して開発された品種

パイパー クリーピングベントグラス

PIPER
CREEPING BENTGRASS



耐暑性

耐病性

〈荷姿〉 11.25kg (ペール缶入り)

DC-1 や L-93XD と同等の耐暑性・耐病性

特長

- 優れた耐暑性
- 優れた耐病性 (ピシウム病・炭疽病・細菌病)
- 優れた初期成育とターフ形成
- 優れたターフクオリティ (淡い緑色のキメ細かな葉・高密度)
- 耐暑性と耐病性を改善するインターシードに適する

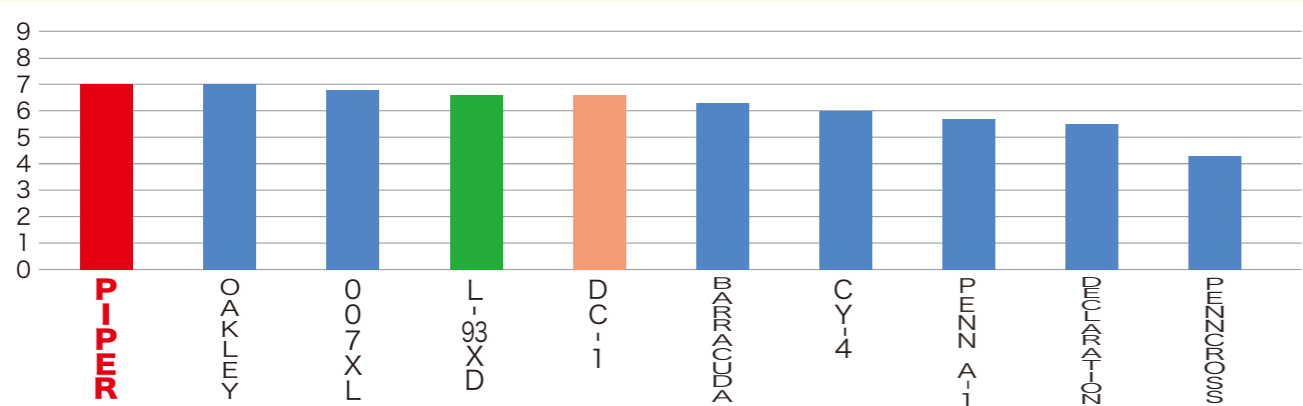
「パイパー」の開発経緯

2020年のUSGAグリーンセクション100周年を記念して、USGA（全米ゴルフ協会）はラトガース大学のステイシー・ボノス博士およびマウンテンビューシーズ社と提携し、ふたつの新しい特徴的なクリーピングベントグラスの品種「パイパー」と「オークリー」を開発し発売しました。品種名は最初のUSGAグリーンセクションのアグロノミストであるチャールズ・パイパー博士とラッセル・オークリー博士に敬意を表して名付けられました。「パイパー」と「オークリー」は、ゴルフの持続可能性を向上させるための継続的な品種開発というUSGAグリーンセクションの取り組みを体現しています。

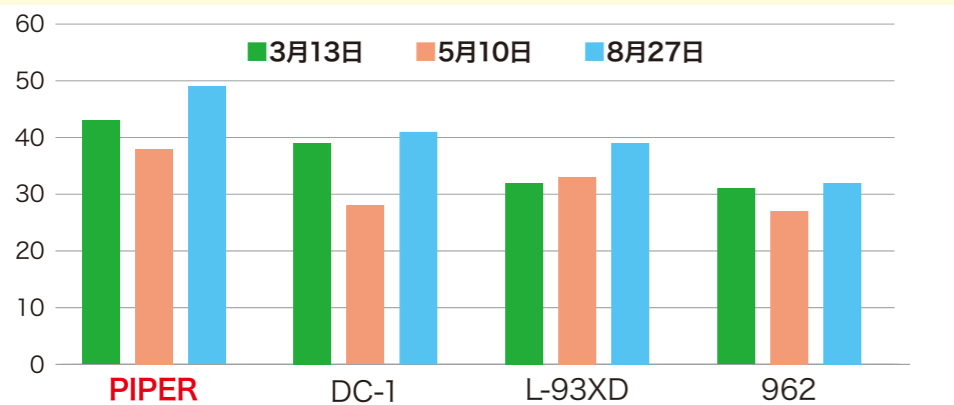
USGAの取り組みによって開発された「パイパー」は、人気品種「DC-1」や「L-93XD」と同等の耐暑性と耐病性を備えた品種です。

PIPERのターフクオリティ

クオリティの総合評価 (1-9, 9=最良 最小有意差=0.3 NTEP 2023年)

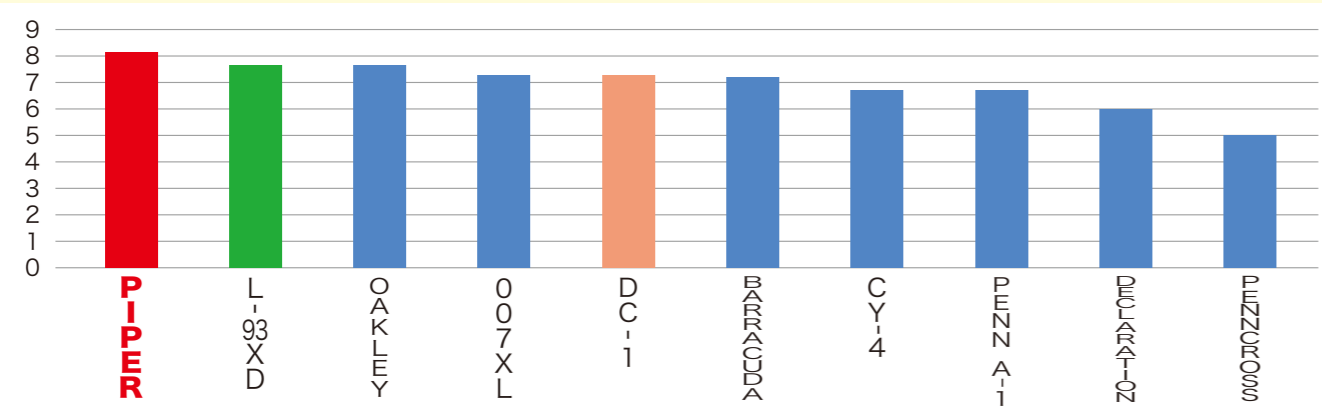


造成2年目のターフの芽数 (本/cm² 東京都 2024年)



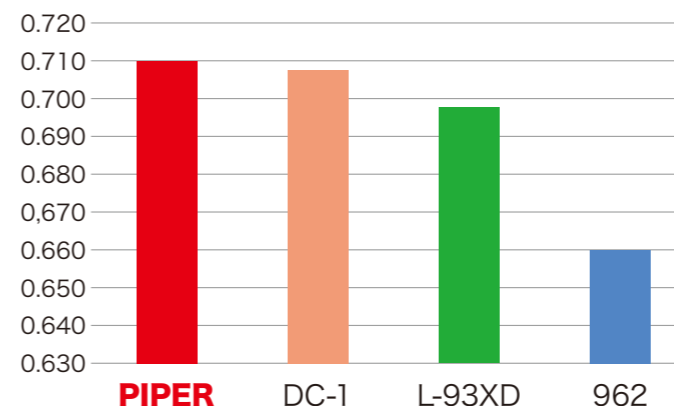
PIPERのキメ細かな葉 (東京都 2024年11月)

葉幅 (1-9, 9=極細 最小有意差=0.7 NTEP 2023年)

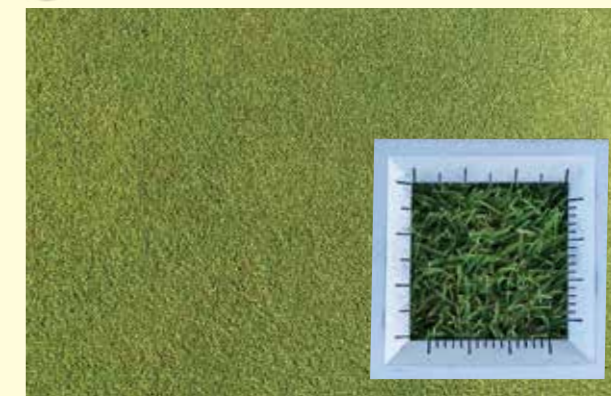


PIPERの耐暑性

夏のクオリティ (NDVI値 東京都 2023年8月)

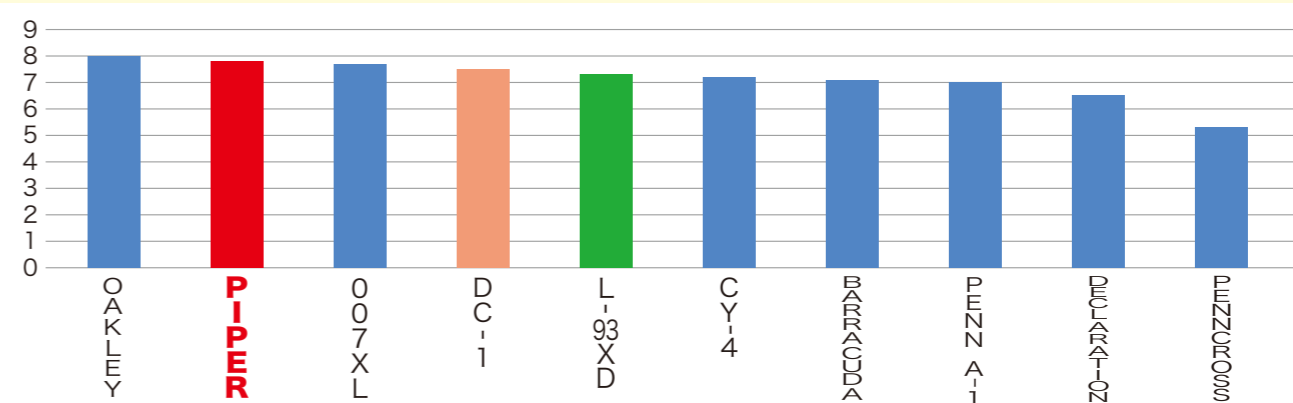


PIPERのターフ ▶ 暑さに強い



猛暑のダメージと病害が無い均一なターフを維持できました。(東京都 2023年8月)

夏の密度 (1-9, 9=極密 最小有意差=0.5 NTEP 2023年)



PIPERのインターシードに適する性能

PIPERのインターシードの効果 (茨城県 2024年)



白線の左側：インターシードあり (6月播種・7g/m²)
PIPERをインターシードした白線の左側は夏のグリーンのダメージが軽減されました。(9月4日観察)

ターフ形成の速さ (東京都 2023年4月から5月)

